

第2期鎌ヶ谷市観光ビジョン 28のアクション進捗管理・評価シート(令和7年度事業)

No	事業名	主たる関係課	事業の成果を表す指標	年度	実績値	単位	令和7年度に実施した事業	事業の成果	令和7年度の評価	課題と今後の取組
基本方針1 参加型観光推進体制の構築と基盤整備										
施策1-1 新たな参加型イベントの構築										
1	梨をコンセプトにしたイベントの実施(重点)(新規)	農業振興課 商工観光課	来場者数	R6 R7 R8 R9 R10 R11 R12 R13 R14	- 618	人	梨の新規購入者や市への来訪者の増加を図るため、こども支援課主催の「ニコカマフェス2025」と同日・同会場で「かまがや梨フェスタ2025」を開催した。	鎌ヶ谷市のほか、白井市、市川市に呼びかけて3市で梨の販売を行い、65袋(2kg/袋)の梨を販売した。 また、鎌ヶ谷の梨やふるさと産品が当たる梨クイズと抽選会を行い、443人の参加があった。	A順調に進んでいる	梨フェスタの開催方法や内容について、関係各課で協議を進めていく。
2	市内を巡る仕掛けづくり	商工観光課	高校生フォトコンテスト応募作品数	R6 R7 R8 R9 R10 R11 R12 R13 R14	154 216	作品	県民の日東葛飾地域行事は、鉄道ラリーを行い、駅から徒歩で訪れることができる観光施設等に謎パネルを設置し、イベントを通じて市内回遊性の向上を図った。 また、高校生フォトコンテストは、企画政策室主催の「わたしの好きな鎌ヶ谷 絵画・写真展」と連携して実施し、コンテストを通じて千葉県・鎌ヶ谷市の魅力をPRした。	県民の日東葛飾地域行事では、鉄道ラリーの賞品の応募総数は787通であった。 高校生フォトコンテストでは、17校84人から216作品の応募があった。	A順調に進んでいる	県民の日東葛飾地域行事は東葛飾地域6市で実施している事業であるため、今後のイベントのあり方について近隣市と連携していく必要がある。 高校生フォトコンテストは、多くが県内高校からの応募であるため、県外高校への周知を強化していくことが課題である。
施策1-2 観光基盤の整備・充実										
3	新鎌ヶ谷駅南口の活用(新規)	全課	-	-	-	-	大型商業施設の建設に向けた協議を継続した。	大型商業施設の商業棟の開発検査が完了した。	A順調に進んでいる	大型商業施設を活用したイベントの実施など、にぎわいの創出につながる活用方法を検討していく。
4	公園の環境整備	商工観光課 公園緑地課	-	-	-	-	【環境整備】 緑道(東京10号線)整備事業を行った。 【イベントの実施】 5月11日(日)に市制記念公園で、こども支援課主催の「遊びのプレーパーク」内でカブトムシ幼虫配布イベントを実施した。	【環境整備】 北初富ほほえみ公園を令和8年4月に供用開始することができた。 【イベントの実施】 2回に分けて幼虫配布イベントを行い、合計124匹の幼虫を配布することができた。	A順調に進んでいる	【環境整備】 安全に利用いただけるよう、供用開始後の利用状況に合わせた適宜改修・環境整備を推進する。 【イベントの実施】 公園を活用したにぎわいの創出を図るため、カブトムシ幼虫配布をはじめとしたイベントのあり方について検討していく。
5	道路整備	道路河川整備課 道路河川管理課	道路の整備延長	R6 R7 R8 R9 R10 R11 R12 R13 R14	1,858 689	m	道路の整備(道路拡幅、歩道整備、舗装改良等)を延長L=689m実施した。	道路拡幅や歩道整備、舗装改良等の実施により、道路利用者の利便性や安全性が向上し、道路環境の改善につながった。	B改善が必要	道路等の整備に関する要望は依然として多く寄せられており、対策が必要な箇所が多い状況のなか、道路等の整備には多額の費用や多くの年月を要するが、国の交付金など十分な財源の確保が難しい状況であることから、限られた費用の中で成果を挙げられるよう、計画的に取り組んでいく。

No	事業名	主たる関係課	事業の成果を表す指標	年度	実績値	単位	令和7年度に実施した事業	事業の成果	令和7年度の評価	課題と今後の取組
6	デジタル技術の活用(新規)	商工観光課	-	-	-	-	インバウンド対応SNS「クールジャパンビデオ」を活用した文化財の定期的な情報発信(隔月発信)を、文化・スポーツ課と連携して開始した。 また、多言語観光情報サイト「Guidoor」について、全庁照会のうえ掲載情報の更新作業を行った。	市のイベントや観光スポット等を、日本人のみならず外国人にも効果的に周知することができた。 また、文化財の定期的な情報発信を図ることにより、文化財を活用した観光振興及び市民と行政による文化財の価値の共有を図ることができた。	A順調に進んでいる	市のイベントや観光スポット等についての情報発信と併せて、文化・スポーツ課と連携した文化財の定期的な情報発信を継続していく。
基本方針2 鎌ヶ谷市民・事業者の意識向上										
施策2-1 市民及び市内事業者の連携による付加価値の増進										
7	産業フェスティバル&農業まつり	農業振興課 商工観光課	来場者数	R6 R7 R8 R9 R10 R11 R12 R13 R14	14,180 -	人	令和7年度の産業フェスティバルは、会場である福太郎アリーナの空調設備改修工事の影響により中止となった。 農業まつりは「秋の収穫・感謝祭」として縮小して市役所で開催し、梨(王秋、新興)、落花生の販売を行った。	梨は王秋、新興合わせて80袋、落花生は62袋販売した。 いずれも1時間程度で完売となり、好評を博した。	A順調に進んでいる	産業フェスティバルは、会場設営の経費増加等の理由により、以降の事業のあり方について検討していく必要がある。 農業まつりは、農業者の協力のもと、多様な農産物及び加工品を来場者へ提供できるよう、実施時期も含め事業の充実に向けて検討していく。
8	市民まつり	市民活動推進課	来場者数	R6 R7 R8 R9 R10 R11 R12 R13 R14	95,000 50,000	人	①相馬野馬追騎馬武者行列 ②ご当地キャラクターイベント ③フリーバザール ④ステージイベント ⑤新鎌通りパレード ⑥こどもイベント	雨天により、中止・縮小になったイベントがあった。 来場者数も、雨天の影響を受け、減少となった。	B改善が必要	物価高騰による支出増が続いているため、今後も事業の見直しやレイアウト変更を実施し費用削減を図る。
9	NICOカマフェス	こども支援課	来場者数	R6 R7 R8 R9 R10 R11 R12 R13 R14	3,887 2,317	人	市、市民、事業者の三者が一体となり、街全体で子育てを目指すイベントを、子育て団体や子育てを応援する出展者からなる実行委員会と共催で実施した。	昨年度よりも規模を縮小したが、行政出展による移動児童館やクリーンフェスタを開催したほか、ワークショップやハンドメイドなどの出展やビンゴラリー等を実施した。 また、きらりホールでもステージイベントを開催し、参加者数は延べ2,317人となった。	A順調に進んでいる	令和8年度は市主催事業として開催し、実行委員会方式ではなく、イベントの企画運営を委託により実施するため、委託事業者と連携を図りながら開催する。
10	かまがや朝市	農業振興課	開催回数	R6 R7 R8 R9 R10 R11 R12 R13 R14	50 50	回	毎週土曜日にかまがや朝市を開催した。	市民に好評でリピーターも多く、毎回30分程度で完売することができた。	A順調に進んでいる	リピーターも増えており市民への認知度は上がっているため、今後とも事業継続を支援していく。 また、朝市組合員の高齢化により、組合員数の減少が懸念されることが課題のため、事務局である農協と協力して支援していく。

No	事業名	主たる関係課	事業の成果を表す指標	年度	実績値	単位	令和7年度に実施した事業	事業の成果	令和7年度の評価	課題と今後の取組
11	かまがやの花火	企画政策室	来場者数	R6 R7 R8 R9 R10 R11 R12 R13 R14	20,000 -	人	令和7年度のかまがやの花火は、会場である福太郎アリーナの空調設備改修工事の影響により開催を見送ることとなった。	主催者と令和8年度の開催に向けた協議を進めることができた。	A順調に進んでいる	主催者と連携して安全面等の対策を講じながら、花火を通じて市のPRや地域活性化を図っていく。
12	スリランカフェスティバル	企画政策室	来場者数	R6 R7 R8 R9 R10 R11 R12 R13 R14	12000 8,528	人	在日スリランカ協会などが主催、市が後援を行い、市役所駐車場にて、伝統工芸品、料理、ヨガやアーユルヴェーダ体験、大使館ブース等が開かれた。	料理や体験などを通じて、スリランカに関する伝統や文化に触れ、多文化共生・国際交流の推進を図ることができた。	A順調に進んでいる	主催者と連携して事前の周知等を積極的に行い、多文化共生・国際交流の推進を図っていく。
施策2-2 市民が鎌ヶ谷市を好きになる体制の推進										
13	観光タウンミーティング	商工観光課	開催回数	R6 R7 R8 R9 R10 R11 R12 R13 R14	1 1	回	令和8年4月1日よりかまがや特派員制度を導入するにあたり、3月24日（火）に、取材方法や記事の書き方、写真撮影のコツ等を内容とするワークショップを、専門知識を持つ講師を招いて開催した。 また、職員の有志もワークショップに参加した。	特派員がより効果的に市の魅力を発信するために必要な知識や技術を学ぶことができた。 また、市民（特派員）・事業者・行政の交流の場を創出することにより、観光施策に対する意識醸成や市への愛着を深めるきっかけとすることができた。	A順調に進んでいる	観光意識を醸成するため、引き続き観光タウンミーティングに協力いただける市民・事業者を募り、市民・事業者・行政の協働による事業の実施を検討していく。
基本方針3 ロコミやマスメディア等を活用した情報発信										
施策3-1 情報発信力の強化										
14	特派員（新規）	商工観光課	特派員人数	R6 R7 R8 R9 R10 R11 R12 R13 R14	- -	人	かまがや特派員実施方針を策定したほか、かまがや特派員設置要綱及びかまがや特派員専用Instagramアカウント運用マニュアルを制定するなど、特派員制度導入に向けた準備を進めることができた。	3月24日（火）にかまがや特派員委嘱状交付式を開催し、鎌ヶ谷高等学校、千葉商科大学、秀明大学の3校から推薦のあった学生に対して、委嘱状を交付することができた。	A順調に進んでいる	特派員による効果的な情報発信に資するよう、特派員の活動を進行管理するとともに、活動の振り返りや勉強会の場を設けるなどの支援のあり方を検討していく。
15	事業者と連携した情報発信（新規）	商工観光課	連携事業者数	R6 R7 R8 R9 R10 R11 R12 R13 R14	69 75	社	令和7年度に作製した観光情報誌「かまって鎌ヶ谷」Vol.2について、市内公共施設、コミュニティ・ベンチャービジネス事業補助金・空き店舗活用補助金交付決定事業者、市内主要法人等7法人に配架した。（配架は令和8年度）	市内公共施設22施設、コミュニティ・ベンチャービジネス事業補助金・空き店舗活用補助金交付決定事業者、市内主要法人7法人に対して観光情報誌の配架依頼を行い、事業者と連携した情報発信を行うことができた。	A順調に進んでいる	令和8年度に「かまって鎌ヶ谷」Vol.3の作製を予定しているため、引き続き超普通スタジオと連携して情報誌の作製を進める。 また、発刊した際には事業者へ協力依頼し、情報発信の強化に努める。

No	事業名	主たる関係課	事業の成果を表す指標	年度	実績値	単位	令和7年度に実施した事業	事業の成果	令和7年度の評価	課題と今後の取組
16	ガイドマップの作製	商工観光課	作製冊数	R6 R7 R8 R9 R10 R11 R12 R13 R14	1 1	冊	市民活動応援補助金の採択事業である「鎌ケ谷市観光・商品の情報誌&PRアニメ制作プロジェクト」を、採択事業者である超普通スタジオと協働で進めた。	令和8年3月に観光情報誌「かまって鎌ケ谷」Vol.2を発刊することができた。これにより、北総線新鎌ケ谷駅からファイターズ鎌ケ谷スタジアムまでの回遊性の向上を図ることができた。	A順調に進んでいる	令和8年度に「かまって鎌ケ谷」Vol.3の作製を予定しているため、引き続き超普通スタジオと連携して情報誌の作製を進める。 なお、Vol.3では京成松戸線の市内主要駅から市内を周遊するMAPを掲載予定である。
17	市外イベントへの参加	農業振興課 商工観光課 文化・スポーツ課	参加回数	R6 R7 R8 R9 R10 R11 R12 R13 R14	5 5	回	①柏レイソル鎌ケ谷ホームタウンデー(7月5日) ②東京スカイツリーPRイベント(8月23日) ③農産物販路拡大イベント(パークタワー晴海)(9月21日) ④中山競馬場鎌ケ谷特別競走(3月22日) ⑤NECグリーンロケッツ東葛ホストタウンデー(3月28日)	①先着200人にふるさと産品等を抽選配布するとともに、約100人に野菜・農産物加工品を販売した。 ②先着400人に梨・農産物加工品等を抽選配布した。 ③114世帯に梨・農産物加工品を販売した。 ④約100人に野菜・農産物加工品を販売した。 ⑤先着200人にふるさと産品等を抽選配布するとともに、約30人に野菜・農産物加工品を販売した。	A順調に進んでいる	農業者、農協と協力して今後も市外イベントへの参加を継続していく。 また、ふるさと産品等を活用した市のPRを併せて継続していく。
施策3-2 職員に対する情報発信の意識化										
18	職員間での連絡会議(新規)	全課	開催回数	R6 R7 R8 R9 R10 R11 R12 R13 R14	2 1	回	10月16日(木)に企画政策室、広報広聴室、商工観光課職員による、情報発信の強化に係る担当者会議を開催した。	情報発信の強化に係る施策について担当者間で協議を進め、実現可能な施策の検討を行うことができた。	A順調に進んでいる	関係各課の職員による会議を継続し、情報発信の強化に係る施策の内容及び実施方法を検討していく。
施策3-3 鎌ケ谷市マスコットキャラクターかまたんの活用										
19	かまたんを活用した取組	農業振興課	かまたん出動回数	R6 R7 R8 R9 R10 R11 R12 R13 R14	61 67	回	市の各イベントへ参加した。	各イベントに参加することで集客及び本市のイメージの向上に寄与することができた。	A順調に進んでいる	庁内外の各種イベントへの参加を今後も積極的に行っていく。
基本方針4 地域ストーリーを重視した観光資源の魅力向上										
施策4-1 鎌ケ谷市特産品の推進										
20	鎌ケ谷グルメの推進	農業振興課 商工観光課	-	-	-	-	農業者が主導で新商品の開発を行い、農業の6次産業化が図られた。	梨ジュースなどの新商品が開発された。	A順調に進んでいる	農業者からの相談に応じて、どのような支援ができるのか検討する。 また、必要に応じてコミュニティ・ベンチャービジネス事業補助金などを通じて事業者支援につなげる。

No	事業名	主たる関係課	事業の成果を表す指標	年度	実績値	単位	令和7年度に実施した事業	事業の成果	令和7年度の評価	課題と今後の取組
21	鎌ヶ谷市ふるさと産品の活用	商工観光課	ふるさと産品活用回数	R6 R7 R8 R9 R10 R11 R12 R13 R14	10 12	回	①柏レイソル鎌ヶ谷ホームタウンデー抽選会景品(7月5日) ②ニコカマフェス2025ラリーイベント景品(8月21日) ③かまがや梨フェスタ抽選会景品(8月21日) ④鎌ヶ谷デー記念品贈呈(8月23日) ⑤アンコンシヤスバイアスエピソード募集記念品(8月27日) ⑥ルーキー鎌スタ☆お披露目会セレモニー贈呈及び抽選会賞品(1月18日) ⑦高校生フォトコンテスト表彰式賞品(3月15日) ⑧中山競馬場鎌ヶ谷特別競走賞品(3月22日) ⑨かまがや特派員委嘱状交付式配付物(3月24日) ⑩NECグリーンロケッツ東葛ホストタウンデー抽選会景品(3月28日) ⑪ふるさと納税の返礼品(通年) ⑫鎌ヶ谷スタジアム年間シート抽選配布賞品(通年)	イベント出展や表彰式、ふるさと納税の返礼品等においてふるさと産品を活用し、市のPRにつなげることができた。	A順調に進んでいる	引き続き各イベント等でふるさと産品の活用を図っていく。
施策4-2 文化財のPR										
22	指定・登録文化財を中心とした文化財の整備・活用(重点)	文化・スポーツ課	-	-	-	-	①澁谷家住宅の工事実施設計及び見学会の実施 ②指定等文化財の日常管理	澁谷家住宅の見学会に41名が参加した。	A順調に進んでいる	引き続き澁谷家住宅の見学会を開催するとともに、澁谷家住宅の整備工事を実施する。 また、文化財説明看板の設置、更新を検討していく。
施策4-3 地域資源のストーリー化の推進										
23	春の牧ウマまつり	文化・スポーツ課	来場者数	R6 R7 R8 R9 R10 R11 R12 R13 R14	1,338 1,559	人	①とっこめ桜まつり(4月4日) ②とっこめ寄席(5月10日) ③とっこめ塾(6月7日)	様々な世代に対して国史跡下総小金中野牧跡の周知を図ることができた。 【来場者数】 ①とっこめ桜まつり:約1,300人 ②とっこめ寄席:234人 ③とっこめ塾:25人	A順調に進んでいる	来場者を増加させる方法を検討する必要がある。
24	カブトムシプロジェクト	商工観光課	カブトムシブリーダー数	R6 R7 R8 R9 R10 R11 R12 R13 R14	8 12	人	カブトムシと一緒に育ててくれるカブトムシブリーダーを募集するとともに、カブトムシの幼虫の個体数確保のため、幼虫の寄附を受け付ける旨周知した。 また、5月11日(日)に市制記念公園で、こども支援課主催の「遊びのプレーパーク」内でカブトムシ幼虫配布イベントを実施した。	カブトムシブリーダー12組のうち1組から10匹の幼虫を提供いただくとともに、31の個人・団体から、1,093匹の幼虫を寄附いただくことができた。 また、幼虫配布イベントにおいては、合計124匹の幼虫を配布することができた。	A順調に進んでいる	引き続きカブトムシブリーダー制度及び幼虫の寄附を呼びかけることで、カブトムシの個体数を確保していく。 また、入手した個体数を考慮して、幼虫配布イベント等の開催を検討する。
基本方針5 連携型観光事業の推進										
施策5-1 北海道日本ハムファイターズとの連携強化										

No	事業名	主たる関係課	事業の成果を表す指標	年度	実績値	単位	令和7年度に実施した事業	事業の成果	令和7年度の評価	課題と今後の取組
25	北海道日本ハムファイターズや関係自治体との連携	全課	-	-	-	-	①教育旅行(エスコンフィールドHOKKAIDO応援ツアー)の協力(8月6日～8日) ②ニコカマフェス2025(ファイターズ×カブトムシ)の参加(8月21日) ③鎌ケ谷スタジアムにおける冠試合「鎌ケ谷デー」開催(8月23日) ④「鎌スタ☆サマースクール～てらこや2025～」の協力(8月13日、19日、20日、27日、28日) ⑤かまがや☆子どもサポートクラブ(すぎやと学ぼう)の協力(7月31日、8月27日、9月13日) ⑥市民まつりのブース出展(10月11日) ⑦鎌ケ谷市×北海道日本ハムファイターズ合同写真展(10月30日～12月4日)※市役所・東部学習センターで実施 ⑧鎌ケ谷スタジアムにおける冠イベント「ルーキー鎌スタ☆お披露目会」開催(1月18日) ⑨「鎌ケ谷市民応援デー」の協力(3月20日) ⑩銅板手形リニューアルの実施	球団と連携したこども向けの事業やPR事業等を実施することができた。	A順調に進んでいる	ファイターズ鎌ケ谷スタジアムの移転意向表明がなされたが、今後も連携を深めていくことで合意している。 令和7年度に実施した教育旅行を今後の連携の核とし、鎌ケ谷デーやお披露目会についても引き続き実施することで、市や特産品のPR等を行う。
施策5-2 事業者、他団体との連携強化										
26	事業者との連携強化	全課	-	-	-	-	市内外の人に、本市を訪れまちを歩いていただくことにより、新たな魅力を知っていただく機会を創出することを目指し、東武鉄道㈱及び東武トップツアーズ㈱から募集のあった「東武健康ハイキング」を実施した。(5月16日～5月18日) また、インバウンド対応SNS「クールジャパンビデオ」及び多言語観光情報サイト「Guidoor」を活用して、インバウンド需要の取り込みを図った。	東武健康ハイキングは、3日間で延べ1,020人の方が参加した。 また、インバウンド対応SNS「クールジャパンビデオ」及び多言語観光情報サイト「Guidoor」の運用により、延べ1,686件のアクセスにつなげることができた。	A順調に進んでいる	引き続き、東武鉄道㈱と連携してイベントを実施するとともに、他の鉄道事業者との連携を検討していく。 また、インバウンド対応SNS「クールジャパンビデオ」及び多言語観光情報サイト「Guidoor」の活用により、更なるインバウンド需要の取り込みを図っていく。
27	職場見学(体験)・農業体験(重点)	農業振興課 商工観光課	開催回数	R6 R7 R8 R9 R10 R11 R12 R13 R14	5 5	回	親子梨もぎとり体験を開催した(8月25日) また、ファイターズ鎌ケ谷スタジアムにおいて、「鎌スタ☆サマースクール～てらこや2025～」を開校したほか、「かまがや☆子どもサポートクラブ(すぎやと学ぼう)」を開催した。	親子梨もぎとり体験は、20人(親子10組)が参加した。 また、「鎌スタ☆サマースクール～てらこや2025～」は、5日間で延べ62人に参加いただき、各課からの協力により講座やワークショップなどを行うことができた。 「かまがや☆子どもサポートクラブ(すぎやと学ぼう)」は3日間で延べ60人に参加いただき、工場見学や食育、梨の学習などを行うことができた。	A順調に進んでいる	既存事業については、毎年好評のイベントであり、今後も継続していく。 また、地元事業者への愛着の増進を図るため、職場見学や農業体験を実施している事業者と連携を図り、実施を検討していく。
施策5-3 市民との協働										

No	事業名	主たる関係課	事業の成果を表す指標	年度	実績値	単位	令和7年度に実施した事業	事業の成果	令和7年度の評価	課題と今後の取組
28	コンシェルジュの育成(新規)	商工観光課	コンシェルジュ人数	R6 R7 R8 R9 R10 R11 R12 R13 R14	- -	人	令和6年度から「観光ガイド養成講座」を実施している柏市について、事業の概要や予算措置等について調査した。	柏市の調査を行うことで、鎌ヶ谷市にコンシェルジュ制度を導入するにあたっての基礎資料とすることができた。	A順調に進んでいる	令和8年4月1日より導入した、かまがや特派員制度からコンシェルジュ制度につなげるような仕組みづくりについて検討していく。